

韓国釜山の捕獲イノシシでアフリカ豚熱確認

- ✓ アフリカ豚熱(ASF)は、ASFウイルスによる発熱や全身の出血性病変を特徴とする致死率の高い伝染病です。ダニによる媒介、感染畜等との接触により感染します。
- ✓ 日本は清浄国ですが、ロシア、アジア、ヨーロッパ、アフリカ等、広く確認されています。
- ✓ 豚熱と異なり有効なワクチンがありません。

ASFについて
(農水HP)



釜山での発生

1例目 2023年12月14日捕獲のイノシシ

2例目 2024年1月14日捕獲のイノシシ

韓国では飼養豚で40件、野生イノシシで3,488頭の発生が確認されています(1月19日現在)



釜山2例目の捕獲地点は日本への航路があるフェリーふ頭と距離が近く、日本への侵入リスクが極めて高い状況です。

旅客の携行品や発生国から不正に持ち込まれた肉からASFウイルスが検出された事例が報告されています。

特に外国人従業員を受け入れている畜産農家では、海外からの畜産物の持ち込みが禁止されていることを周知のうえ、万が一にもこれらが農場に持ち込まれることがないように徹底してください。

飼養衛生管理基準を遵守し、飼養豚への感染防止に万全を期してください。

滋賀県家畜保健衛生所

(本所)

近江八幡市西本郷町226-1

TEL: 0748-37-7511 FAX: 0748-37-4821

緊急携帯: 090-3613-7486

(北西部支所)

高島市今津町弘川249-1

TEL: 0740-22-2145 FAX: 0740-22-6681

緊急携帯: 080-6176-8052